



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第16号
令和3年 7月 7日

SDGs 12番目の目標「つくる責任 つかう責任」 ～ 4年生 ごみ学習出前講座 ～



ごみの分別作業体験

皆さんは、「ごみ」という言葉からどんなことを想像しますか？「汚れたもの」「壊れたもの」「古くなって使わなくなったもの」「役割を終えたもの」「ほこり、くず」などでしょうか。「ごみ」は、はじめから「ごみ」であったわけではありません。もともとは、私

たちの生活の中で役割を持ち、大切な時間を一緒に過ごしたもののばかりです。しかし、その役割を終え、使えなくなったり、いらなくなったりしたものが「ごみ」と呼ばれています。

大和田南小学校は、児童数と職員数を合わせると約880名です。これだけの人が1日活動をしていると発生するごみの量も決して少なくありません。

八千代市の人口は約20万人、1日に出るごみの量は、約150tだそうです。この150tには、お店や工場などから出てくるごみは含まれていませんので、実際には、もっと多くのごみが出ているということになります。

では、日本全体ではどうでしょうか？世界全体ではどうでしょうか？私たちが豊かで便利な生活ができるのは、たくさんの資源を使って、ものをつくり、それをたくさん消費しているからともいえます。しかし、今、地球上にある海や森などの資源が私たちの生活を支えきれなくなってきています。この問題は、SDGs 17の目標で言えば、12番目の目標「つくる責任 つかう責任」にあたります。本校では、この目標を達成するために、4年生の社会科で「ごみの処理と利用」について学習します。八千代市では1日にどのくらいのごみが出て、どのように処分されたり、再資源として生まれ変わったりしているのかを調べ、理解していきます。さらに、ごみを減らすために4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の活動に取り組む有効性を知り、自分たちで取り組めることは何かを考え、行動に移す態度を育てていきます。



パッカー車へのごみ投入体験

今回、このねらいを達成するためにゲストティーチャーとして呼び出したのは、八千代市クリーン推進課及び清掃センター職員の皆さんです。

実際に可燃ごみの収集に使っている「パッカー車」というごみ収集車を持ってきてくださり、実際にごみを投げ入れる体験をさせていただきました。保護者の皆さんもパッカー車は見たことがあるとは思いますが、中の構造がどうなっているかまでは見たことがないと思います。図鑑やタブレットを使えば大抵のことはわかります。しかし、「百聞は一見に如かず」本物に勝るものではありません。

小学校4年生は、自分だけでなく、他人のことについても考えられるようになる時期でもあります。自分たちの消費活動が地球環境をつくる一部になっていることや、自分たちの生活は、世界で見れば決してあたりまえでないことに気づき、10歳の自分たちでもできることを考えていくきっかけになったと思います。



パッカー車のひみつ

学習後、子供たちはお礼の手紙を書きましたのでいくつか紹介いたします。※抜粋

- ごみの分別をしてみても思ったことは、大量のごみを分別している人は、ぼくの2倍以上すごい人だと思いました。大人になったらごみの仕事になってもいいと思います。(晴生さん)
- 収集車は2,000kgまでごみを入れられるなんてびっくりしました。もっとごみのことを知りたいです。処理する工場に行けるのだったら行ってみたいです。(湊さん)
- 私は、ごみを投げ入れることをやったけど、「一つ投げ入れるのは簡単だけど、1人で何個もやるのは大変だろうなあ」と思いました。(幹奈さん)
- ぼくは中でもごみ収集車を動かしてくれたときが一番興奮しました。今までそんなに楽しくなさそうと思っていたけれど、「ごみ処理場はすごい！」と思いました。(皓大さん)
- ごみは、5種類に分けられたり、ごみ収集車の中だったり、集積場所が6,000か所くらいあると聞いてとてもびっくりしました。もっとごみのことを知りたくなりました。(明久さん)
- 前はごみが増えても、分けられてなくても「まあ、いいか」と思っていました。でも、この学習でごみを増やさないようにしよう、分別しよう、そう思えるようになりました。(絢さん)
- 最初は、「4R?何それ」と思ったけれど、細かく教えてもらったおかげでよくわかりました。最初、(焼却炉の)火の温度は500度くらいじゃないのと思ったけれど、900度聞いてびっくりしました。(悠さん)
- ふだん何気なく捨てているごみでも、分別していたり、リサイクルしたり、たくさんの清掃センターの人の努力があってごみは処理されているとわかって、とても驚きました。(結愛さん)
- 私は、この授業をしていなければ大人になってもごみを分けていなかったかもしれません。でも、今日教えてもらったので、大人になってもごみを分けたりできそうです。(心葉さん)
- 社会科でも調べていたのですが、どうしてもわからないところがありました。皆さんが来てくれたおかげでごみ収集車の構造や、ごみの分別、4Rなどいろいろなことがわかりました。私も大人になったら、ごみの分別がちゃんとできるようになりたいです。(悠花さん)
- 八千代市のごみ収集車は、いろいろな工夫をしていることがわかりました。これらの工夫によって八千代市は、きれいな市になっていることがわかりました。(諒さん)

今後この学習は、「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」につながっていきます。取組の様子は、ホームページで随時お知らせしていきます。



とても熱心にメモをとっていました。